

○ 熊本の地下水を守りながら、地域の環境と畜産業の振興によって生まれた「くまもとeco牛ふん堆肥」を生産。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

・牛ふん

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
  - ・肥料名：くまもとeco牛ふん堆肥（10kg袋、バラ）
- 熊本県堆肥共励会「乳牛部門」受賞

取組の経緯

- ・熊本市東部堆肥センターは、熊本市の主要な水道水源の上流にあたる東部地域において、硝酸性窒素等による地下水の汚染を防止するとともに、家畜の飼育に伴う臭気の発散を軽減し、周辺環境と調和のとれた畜産業の発展を図ることを目的として整備された施設である。

取組の内容

- ・当堆肥センターでは、現在41戸の畜産農家から年間約26千tの家畜排せつ物を受け入れている。堆肥センター設立時の取り決めにより、家畜排せつ物の受入先である畜産農家に対して、飼料作物の栽培基準等に基づく必要な堆肥の量を無償で提供している。
- ・家畜排せつ物は、固形排せつ物と液状排せつ物（スラリー）を分別して搬入しており、固形物は堆肥化処理を行い、分離液は外部施設で浄化処理される。副資材は、破碎したバークや剪定枝・伐採草を利用し、環境保全に配慮した取組を行っている。

■ 作物 ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

・飼料作物

N	P	K	C/N比
1.4	1.1	1.5	18

- ・熊本の地下水を守る取り組みで生まれた「くまもとeco牛ふん堆肥」を販売。
- ・水はけや肥料持ちが良く、土壌改良効果が期待。

成果（見込み）

- ・堆肥センター設置に伴う市条例に基づき、対象地域の畜産農家による家畜排せつ物が適切に管理され、適正に堆肥化等の処理が行われている。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・当堆肥センターでは、畜産農家の無償提供を差し引いた余剰分を、耕種農家や一般消費者向けに販売しているため、大規模な需要に対して供給しきれない部分がある。



袋詰め堆肥  
「くまもとeco牛ふん堆肥」



熊本市東部堆肥センター



発酵槽（スクリュー式攪拌装置）